

呉地協2020旗開き



▲ 呉地協「旗開き」・呉労福協「賀詞交換会」会場内の様子

連合広島呉地域協議会は、1月8日(水)呉森沢ホテルにおいて『2020 旗開き』を開催した。旗開きには、同時開催した『呉地区労福協賀詞交歓会』の参加者を含め約150名が参加した。

主催者として両組織を代表し挨拶した高田議長(呉労福協副会長)は、「昨年は選挙の年であり、消費税も増税された。元号も令和に変わり、新たな時代の幕開けである。米中貿易摩擦、米国とイランの軍事衝突など、経済動向は予断を許さない状況にある。迎える2020春闘では、組織力強化にとり組んで頂き、有意義な回答を勝ち取り、労働組合の存在価値を高め、その必要

性を世に問いかけていかななくてはならない。連合呉地協は、今年結成30周年を迎える。歴史を振り返り新たな時代へ有意義な一年としていきたい」と年頭の決意を述べた。

「旗開き」「賀詞交歓会」は、来賓の久光連合広島会長から新年の挨拶の後、伊丹広島県労福協会長による乾杯で歓談を開始した。

歓談中に来場された新原呉市長の挨拶の後、呉地協推薦議員の『森本真治』『柳田稔』参議院議員の各秘書、『山本良二』『中原あきお』『光宗ひとし』呉市議会議員から今年一年の抱負、中国労働金庫をはじめ各福祉事業団体から新年の挨拶を受けた。

歓談の最後には、恒例の『新春お楽しみ抽選会』が青年女性共同委員会の進行で開催され、当選者が決まる度に歓喜の声が上がるなど、和やかな雰囲気の中、参加者の交流を深めた。



▲ 挨拶する高田議長(呉地協)



▲ 中締めする石丸副会長(呉労福協)

結成30年有意義な一年を

2020旗開き写真館

